


一般質問通告書

多可町議会議員 河崎 一 様
 多可町議会議員 廣畑 幸子 

平成 26 年 3 月 4 日
 受領 午前 / 時 00 分
 午後

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 八千代区小学校の統廃合について	町長・教育長

平成 28 年 4 月に八千代区の小学校を統廃合するために、八千代区小学校統廃合準備委員会を設置すると教育長は教育方針を述べられた。そこでお聞きしたい。

現在は徒歩通学の子どもたちだが、八千代北小学校・八千代西小学校では、徒歩通学の無理な子供たちが出てくる。通学バスの運行、路線バスの利用などが考えられると思う。児童数だが八千代北小学校では、25年度は85名。減少傾向にあると言っても、28年度でも64名。路線バスの場合、乗り切れない子どもが出てくる事も考えられる。足の確保は大事な事。どの様な想定をされているのか。

小学校3校を統合するのだからおのずと2校が空いてくる。耐震工事も済んだ安心な施設。例えば、八千代北小学校を図書館にすると言うのはどうだろうか。オープン教室は、図書館にするには良い条件になると思うがいかがか。町としてもっと良い考えがあるのか。

八千代区小学校区のコミュニティの力には、他の区に負けず劣らず素晴らしいものがある。小学校がなくなるからと言って、この力を失ってはならない。その力を持続するために、町としてどの様に応援していくのか。

2. 福祉タクシーの利用助成について	町長
--------------------	----

現在75歳以上の高齢者の方、また身体障害手帳1～3級・療育手帳A・B1 保健福祉手帳1～3級をお持ちの方、そして介護認定を受けている方に申請によって年間24枚のタクシー券が交付される。このタクシー券の利用実績だが、平成22年～25年まで(25年はまだ見込みだが、毎年68%で推移している。26年度予算では、発行枚数の予定が21,000枚、875人分で利用率は73%を見込んでいる。単純に計算すると、766万5000円になる。1人分は1万2000円だから、人数に換算すると約236人分となる。もちろん、予算があるからと言ってぎりぎりの計算はできないだろうが、それでも余裕はあると思う。合併当時は48枚交付していたのが、今は半分の24枚になっている。

町長はいろんな意味で公平性と言われるが、多可町は広い町。北の端、南の端ではタクシー代も随分違う。清水坂トンネルの開通で、丹波への通院も近くなった方も出ている。利用対象範囲の見当も必要があると考え、多可町外の病院に通院する方には、例えば12枚単位で自己負担もしてもらいつつ、交付を増やす事が必要と考えるがいかがか。

3. 男女共同参画について	町長
<p>男女共同参画と一口に言っても範囲が広く、奥の深いものであり課題はたくさんあるが、2点お聞きしたい。</p> <p>まず26年度の管理職、審議会、委員会等の女性登用の目標数値はどのように立てているのか。また、どういう努力、工夫をするのか。国から出されている数値目標を多可町に当てはめて、クリアできる部分、そうでない部分いろいろあると思う。ただ数字を合わせるだけでなく、中身をしっかりとしたものにならなければならないし、女性がいろんな場面に出やすくすることも大事。いかがか。</p> <p>いろんな委員会があるが、農業委員会に女性の登用は考えられないか。以前は農業の背景が女性では分かりにくいことが多く、女性は適していないなど言われていたが、例えば商品開発や、消費者の望む物の研究など女性が担う場面は増えている。近隣でも、人数は少ないが女性も農業委員として活動している。農業委員は選挙で選ばれるため、制度的に工夫が必要だろうがいかがか。</p>	

☆ 一般質問の通告期限は3月14日（金）午後0時00分までです。

質問要旨はできるだけ詳細にお願いいたします。